



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

「神様の縁結び

／試練と会遇の山峰」

民富田智明



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○粗筋
ある日、町の神社で縁結びの祈願をしていた女子学生・春小路清子が、謎の白服の男「白馬の王子」に誘拐される。清子は、山中で強姦ビデオ「お姫様ごっこ」の被写体として辱めを受けそうになるが、逃走する。清子は、たまたま勤務中の休憩時間を使って神社散策をしていた交通警備員・人間原堅次郎と出会い、助けを求め、堅次郎は、訳も分からぬまま狙われる身となり、清子と共に山奥へ逃走する。堅次郎は、尾根筋に身を隠し、清子から経緯を聞き出す。堅次郎は、弱気になりながらも義憤に駆られ、「白馬の王子」と戦うことを決意する。堅次郎は、捨ててあった血の付いた銃と短刀を手に入れ、戦いを挑む。堅次郎は、銃撃戦と肉弾戦を繰り返して、手榴弾で吹っ飛ばして「白馬の王子」を倒す。清子は、堅次郎と危機を乗り越え、山の神社で結ばれる。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 登場人物

春小路清子（18）どこにでもいる普通の女子学生。お姫様願望があり白馬の王子様を求め恋愛脳な節がある。異性の交際経験はない。清纯派。神様の加護のため、ヒロイン補正がかかりまくる。後に、「鬼神童女遊侠伝」でお凜様と同化する

入間原堅次郎（39）寺社巡りと山歩きが好き。元運転手の現警備員。戦闘訓練を受けたことはないし、気も弱い。春小路清子を助けるために孤軍奮闘する。神様の加護のため、ヒーロー補正がかかりまくる。後の「特攻戦士神風」の主人公。

白馬王子（35）清子を誘拐する。白い背広を着て、拳銃と短刀で武装している。闇の世界の芸術家で強姦映像「お姫様ごっこ」の制作者。広域暴力団「関東脅征会」の構成員。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 郊外の町の遠景

町を貫く入間川の遙か向こうに秩父山地の峰々が広がっている。

字幕 「令和年間。武州入間地方」

○ 郊外の神社・門前

鳥居越しに、本殿に向かって立っている学生服を着た春小路清子（18）の後ろ姿が見える。

○ 郊外の神社・境内

清子が鈴を鳴らして、二礼二拍手して手を合わせて祈願する。

清子（語り） 「私、春小路清子、どこにでもいる普通の女子学生。何をお祈りしてるって？ 縁結び！ こう見えても彼氏いたことないの。自然な出会いもなし。だから、神様にご縁を結んでもらうことにしたの。どこかに必ず、運命の赤い糸で結ばれた白馬の王子様がいるはず！」



清子（独白）「え？」

王子「お迎えに上がりました、姫！」

清子「わ……」

王子「私は白馬の王子。あなたを幸せにするため、お城にお連れします」

王子がお辞儀をして微笑む。

清子（独白）「どういうこと？まさか、この人が私の？でも、効き目早すぎ……」

清子の鼓動が高鳴る。

○ 郊外の神社・門前

清子が境内から出てきて、通りを歩いていく。

すると、一台の車が走ってきて、清子のところに横付けして停まる。

車から、白い背広を着た精悍、皿構えの白馬王子（35）が出てくる。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

○ 山間の神社・境内

の後ろ姿が見える。

る警備服を着た人間原堅次郎（39）
鳥居越しに、本殿に向かって立っている

○ 山間の神社・門前

山地の峰々が広がっている。
町を貫く名栗川の取り囲むように秩父

○ 山間の町の遠景

転席に乗り込んで、車を発進させる。
車のトランクに押し込む。そのまま運

王子が拳銃を突きつけながら、清子を
王子「騒いだらどうなるか、わかってい
ね？」

王子「嫌とは言わせませんよ、姫！」
王子が笑顔のまま拳銃を抜いて清子に
突きつける。

清子が絶句する。



王子 「お城に着きましたよ。くれぐれも騒が
拳銃を突き付けながら清子を降ろす。
王子が降りてきて、トランクを開け、
る。車が走ってきて、適当なところに停ま
○ 山間の神社・駐車場
堅次郎が誘導棒で体を叩き続ける。
堅次郎 「はあ、仕事早く終わらないかな。こ
めんな景色のいいところで一人現場で通行止
する。
導棒で疲労した肩や足などを叩いたり
個室で用を足しながら、手に持った誘
堅次郎が個室に入っていく。
○ 山間の神社・公衆便所
衆便所に向かって歩いていく。
て手を合わせて祈願し、一礼して、公
堅次郎が鈴を鳴らして、二礼二拍手し



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子が上着を脱ぎ、ネクタイを緩めだ
う！」
楽園で、幸せの最果てまでお連れしましよ
王子「姫、俺の城へようこそ！ 緑あふれる
清子「きゃっ」
清子が草むらに倒れ込む。
王子「き放す。」
王子が清子連れてきて、無造作に突
○ 山中の森・広い平坦地
○ 山中に続く林道
王子が清子を引っ張って行く。
に連れて行く。
王子は、神社に目もくれず、奥の山道
○ 山間の神社・境内
清子は、王子に手を引かれて、連れて
いかれる。
ないように」



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

清子 「な、何する気？」

王子 「お姫様ごっこですよ」

王子 がシャツのボタンをはずす。

清子 「こんなの、絶対違う……」

王子 が清子にまたがって屈み、頭に拳銃を突き付ける。

王子 「うるせえなあ。死にたくなけりゃ、とつとと股開けや。お？ 姫のく、にそんなこともできねえのか？」

清子 「いや……、いや……」

王子 が肩に提げた鞆からビデオカメラを取り出す。

王子 「俺は闇の世界の芸術家だ。お前は俺の『お姫様ごっこ』の被写体として選ばれたんだ。世界中がお前の晴れ姿を待ち望んでるんだぞ。お姫様らしく、上品に、可憐に、快樂の絶頂を味わいやがれ」

王子 がビデオカメラを起動させて録画し始める。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子 「俺のお姫様になれば無事に家まで帰れる。それが嫌なら、ここで鉛玉を食らって熊の餌になる」

王子 「答えは一つしかないと思うけどな」

王子 が清子のこめかみに拳銃をぐりぐりと押し付ける。

清子 「命だけは、助けてくれるの……？」

王子 「紳士に嘘はありません」

清子 は、屈辱で顔を歪ませながら、無言で首を縦に振る。

王子 「さすがお姫様だ」

王子 が清子に馬乗りになり、十字を切る。

王子 「父と子と精霊の御名において、永遠の愛欲を授からん。アーメン」

王子 が清子のセーラー服のスカートをほどき、前開きのファスナーを下げていく。



○ 山中の森・下り坂

清子が必死で逃げていく。が、足場が

王子「あっ！」

清子が必死で逃げていく。

王子は、清子が逃げた先を凝視し続ける。

王子「あっ！」

清子は、王子の視線が外れた隙に、走って逃げだす。

王子が視線を外す。

王子「わがままな娘だ」

清子「見ないで！」

王子が拳銃を構えて茂みを凝視している。

清子が茂みの陰に入っていく。

王子が清子から離れる。

王子「ちっ、その辺でしな」

清子「おしっこさせて……」

清子「待って！」

王子が止まる。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

堅次郎 「あ？ え？」

堅次郎が戸惑う。

清子 「助けて下さい！」

分岐点で清子と堅次郎が出くわす。

上から清子が必死に逃げてくる。

下から堅次郎がゆっくと歩いてくる。

○ 山中の森・二股の分かれ道

○ 山中に続く林道

堅次郎がゆっくと歩いていく。

ていく。

堅次郎が立ち上がって裏山の方に歩いて

よう」

堅次郎 「まだ時間あるか。ちよっくら散歩し

腕時計で時間を見る。

堅次郎が社殿に腰かけている。

○ 山間の神社・境内

悪く、たどたどしい。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

清子 「あいつが来ます！」

堅次郎 「何を言ってるんだ？」

その時、銃声。

堅次郎 「うわ！」

清子 「きゃ！」

上の方に、拳銃を構えた王子が立っている。

堅次郎は、王子と目が合う。

王子が拳銃を撃ってくる。

堅次郎 「うわああ！」

清子 「きゃああ！」

堅次郎は、清子の手を取ってもう一方の道に逃げていく。

王子が高台から拳銃を撃ってくる。

堅次郎と清子が逃げていく。

○山中の森・曲がりくねった上り坂

堅次郎が清子連れ、必死に逃げている。

だが、急坂で足場も悪く、走れるよう



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

清子 「『お姫様ごっこ』って……」

堅次郎 「は？」

清子 「強姦ビデオ……」

堅次郎 「それで……無事だったの？」

清子 「うん……」

堅次郎 が清子にぐっと近づく。

堅次郎 「俺は軍人でも警官でもねえ。ただの警備員だ。それも交通誘導の。前歴はただの運転手。格闘技を習ったことも、え。気も弱え。昔はいじめられてたくらいだ。少女漫画の男みたいな都合のいいお助けマンじゃねえぞ……」

堅次郎 が清子の目を見ながら、震えている。

清子が震えながら、堅次郎の目を見て、手を握る。

清子 「頼れるのは、お兄さんだけ……」

堅次郎 が息を飲む。

堅次郎 「やるっきゃねえ！」

堅次郎 は、清子連れて走り出す。



○ 山中の森・窪地

堅次郎と清子が走ってくる。

堅次郎は適当なところで立ち止まり、リュックの中身を確認する。

ヘルメット、誘導棒、手旗、汗拭きタオル……。

堅次郎「あいつは銃を持ってる。俺にや警備道具しかねえ。なんか武器になり……っなもないと」

清子「木の枝くらいしかないよ……」

堅次郎「あれは？」

堅次郎は、何故か拳銃と短刀が落ちているのを見つける。

堅次郎が拳銃と短刀を拾う。何故か赤い染みがついている。

堅次郎「血だ……」

さらに、朽ちた名刺が落ちているのを見つける。

堅次郎が名刺を拾う。名刺には「関東



○ 山中の森・曲がりくねった上り坂
王子がゆっっくりと歩いてくる。

堅次郎 「あいつを倒す！」
清子の鼓動が高鳴る。
堅次郎が清子を持って走っていく。

堅次郎は、短刀を腰に差し、拳銃を握り、清子の手を固く握る。

清子 「多くの女の子が、ここで……」
堅次郎 「犯行を知る奴を帰すと思うか？」
清子 「お姫様になれば、家に帰すって……」
堅次郎 「たぶん。俺も君も、ここで消すつもりだ……」
清子 「それ、殺した相手の武器？」
い奴を消すためにも……」
んだ。強姦ビデオだけじゃなく、都合の悪
堅次郎 「落としたんだろう。ここが仕事場な
清子 「なんで名刺が？」
堅次郎 「あいつ、暴力団だ」
脅征会白馬王子」と書かれている。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子 「どこで銃を？」

王子が撃ち返す。

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂

王子が走って銃弾を避ける。

堅次郎が撃ち返す。

○ 山中の森・尾根筋

堅次郎が伏せて銃弾を避ける。

王子が堅次郎に気づき、銃撃する。

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂

狙う。

堅次郎が高台から拳銃を構えて王子を

○ 山中の森・尾根筋

王子が歩いていく。

しゅうございますぞ」

れられ、どこにお逃げなさったか？ 寂

王子 「おお、愛しき姫よ、汚らしい下郎に連



○ 山中の森・曲がりくねった上り坂
王子が道を駆け下りつつ、振り返って銃を撃つ。
堅次郎と清子が物陰に避ける。
堅次郎が撃ち返す。
王子が走って逃げる。

○ 山中の森・尾根筋
堅次郎が清子を手を連れて道を駆け下りていく。

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂
王子が走って銃弾を避ける。
堅次郎が連続して撃ってくる。王子が道を駆け下りていく。

○ 山中の森・尾根筋
堅次郎が伏せて銃弾を避ける。



堅次郎が撃ち続ける。
王子が走って沢筋の方に逃げる。
堅次郎が拳銃の残弾を確認する。
残り一発。
堅次郎が走ってくる。
拳銃を構えながら、周囲をうかがい、
歩き回る。
○ 山中の森・沢筋
王子が走ってくる。
物陰で拳銃の残弾を確認する。
残り一発。
堅次郎が走ってくる。
拳銃を構えながら、周囲をうかがい、
歩き回る。
堅次郎が沢筋の方に向かっていく。
ぶん殴れ。手加減するな！
堅次郎「いざというとき、あいつを思い切り
堅次郎「一緒にだとかえって危ない」
清子「離れないで！」
堅次郎「あいつを追う。君はここで伏せて
るんだ」



○ 山中の森・沢筋

絶句する。
堅次郎が撃たれる様子を見て、清子が

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂

堅次郎が被弾して倒れる。

堅次郎「ぐあっ！」

王子が堅次郎の胴体を撃つ。

王子「なら死ね！」

堅次郎「断る！」

王子「なら娘を渡せ」

堅次郎「死にたくなんかない！」

ちりで死ぬのは嫌だろ？」

王子「大した勇氣だな。だが、余計なとばっ

堅次郎は身動き取れない。

付ける。
王子が飛び出して堅次郎に拳銃を突き

構えている。

物陰から王子が堅次郎を狙って拳銃を



王子 「警備員め、底辺が調子に乗るからだ」

王子 が堅次郎に背を向けて歩き出す。

だが、堅次郎が生きていて、倒れたまま拳銃を王子に向ける。

堅次郎が拳銃を撃つ。

王子 「なっ！」

銃弾は王子から外れる。

堅次郎が起き上がる。

王子 「なぜ平気なんだ？」

堅次郎が上着のボタンをはずす。中に防弾チョッキが見える。

堅次郎 「万が一のために着ている……」

○ 山中の森・曲がりくねった上り坂

清子が堅次郎の方に駆け下りていく。

○ 山中の森・沢筋

堅次郎と王子がにらみ合っている。

王子 「黙って交通整理してれば死なずに済んだものを」



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子が銃を捨てて短刀を抜く。

堅次郎 「お前が悪さをしてなきや、こうはなっていないかった」

堅次郎が銃を捨てて短刀を抜く。

堅次郎と王子が短刀を構える。

王子 「うおおおっ」

王子が斬りかかる。

堅次郎が避ける。

堅次郎が斬りかかる。

王子が避ける。

王子が連続で斬りかかる。

王子が避けて、斬りかかる。

堅次郎が斬りかかるが、王子に斬りつけられる。

堅次郎の顔が引きつる。

堅次郎が斬りかかる。

王子が堅次郎の腕を取って、絞めつける。



王子が銀次郎の手から短刀が落ちる。
王子が銀次郎に頭突きし、何度も膝蹴りする。
堅次郎が崩れ、王子が銀次郎を蹴り飛ばす。
堅次郎が倒れて苦悶する。
王子「おい、立てよ」
堅次郎がよろけながら立ち上がる。
堅次郎が拳を構える。
堅次郎「うおおおっ」
堅次郎が王子に殴りかかる。
王子が避けて殴り返す。
王子が堅次郎の腹を何度も殴り、顔面に膝を叩き込む。
堅次郎が崩れてもがく。
王子が堅次郎の様子を見ている。
堅次郎が立ち上がろうとする。
王子が堅次郎を蹴り飛ばす。
堅次郎が立ち上がろうとする。
王子が堅次郎を蹴り飛ばす。
王子が堅次郎を蹴り飛ばす。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

王子 「うぐあっ！」

王子 が倒れて突っ伏す。

清子が誘導棒を握りしめたまま興奮している。

王子 「かっこいいぜえ。勇者気取りか」

堅次郎 「勇者でもなんでもねえ！」

王子 「なぜこんなしぶといんだ？」

堅次郎 「必死なだけだ！」

堅次郎 が立ち上がろうとする。

王子 が堅次郎を蹴り飛ばす。

堅次郎 が倒れる。

王子 「お前の勇気を讃えて、名誉のしるしを与えよう」

王子 が屈んで堅次郎の首筋に短刀を突き刺そうとする。

その瞬間、

清子 「いやあああっ！」

清子が突っ込んできて、王子の後頭部に思い切り誘導棒を叩きつける。



清子

「いやあああっ！」

堅次郎がもがく。

る。

王子が堅次郎の顔を滝壺に押し付け

堅次郎が水飛沫を上げて倒れる。

王子が堅次郎を突き飛ばす。

の中に連れていく。

王子が堅次郎を掴んで引き起こし、沢

堅次郎が転がるように倒れる。

王子がすかさず短刀で斬りつける。

堅次郎が苦悶する。

王子が銀次郎に拳を次々叩きこむ。

王子が蹴りを受け止め、蹴り返す。

蹴り込む。

王子が持ちこたえたところ、堅次郎が

何度も膝を叩き込む。

堅次郎が王子に拳を何度も叩き込み、

堅次郎「うおおおっ」

王子がよろよろ立ち上がる。

堅次郎がよろよろ立ち上がる。



堅次郎 「うわああああっ！」

王子 「お姫様を吹っ飛ばしてやるうううっ」

王子が手榴弾を投げつける。

手榴弾が飛んでくる。

堅次郎は、王子の短刀を押さえながら組みつき、汗拭きタオルを思い切り締め上げる。

王子がしばらくもがいた後、力尽きて動かなくなる。

堅次郎が汗拭きタオルを解くと、王子が倒れる。

堅次郎が興奮して息を荒げている。

堅次郎が沢から上がり、よろ、ろと清子の方に歩み寄る。

清子 「お兄さん！」

清子は、堅次郎を抱き留める。

堅次郎 「帰ろう…」

堅次郎は、清子を連れて歩き出す。

その時、王子が起き上がり、隠し持っていた手榴弾を取り出す。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

清子 「きゃあああっ！」

手榴弾が落ちる。

堅次郎がとっさに拾って、投げ返す。

王子の目が引きつる。

王子 「うおおおっ！」

堅次郎と清子が飛ぶように伏せる。手榴弾が爆発し、王子を吹っ飛ばす。

静まると、仰向けの清子に堅次郎が覆い被さるように伏せている。

堅次郎 「大丈夫？」

清子 「うん……」

堅次郎と清子は、とても、近い。

○ 山間の神社・境内

堅次郎と清子が並んで祈願している。

清子（独白） 「悪い奴に誘拐されて、銃でバンバン撃たれて本当に怖かったけど、なんとか無事に助かりました」

清子が堅次郎の方を見る。



謎の男（声） 「白馬の王子が殺られたのだと。

○ 黒画面

○ 終幕

清子（独白） 「すべては、神様のお導き」

き……。

清子は、堅次郎に唇を近づけてい

とね」

清子（独白） 「私も本当のお姫様にならない

堅次郎が照れている。

清子の微笑み。

ね」

少女漫画みたいな美男子じゃないけど

が、私にとっての本物の白馬の王子様。

清子（独白） 「命懸けで戦ってくれたこの人

清子が堅次郎と固く手をつな

清子 「お兄ちゃん！」

主題歌挿入 「神様の縁結び」。

終わったと見せかけて……。



短編映画「神様の縁結び／試練と会遇の山峰」

る 害 『
か は お
教 大 姫
え き 様
て い。 ご
や れ。 っ
。 脅 こ
。 征 『
男 会 は
も を 世
女 敵 界
も 敵 中
必 回 で
ず し 大
消 た 人
せ ら 気
」 ど だ
。 う
な 損

完